

## ■文献一覧

- Akasaka T. and Maruyama N. (1977) Social organization and habitat use of Japanese serow in Kasabori. J. mamm. Soc. Japan, 7: 87-102.
- 石川県白山自然保護センター (2014) 白山自然国立公園等でのニホンジカ等の生息実態現状把握
- 環境省. 自然環境保全基礎調査 ([http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg\\_kiso.html](http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html))
- 気象庁. 気象統計情報 (<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>).
- 近畿中国森林管理局. 白山山系緑の回廊モニタリング調査報告書 (平成 24・25 年度)
- Koganezawa, M. (1999) Changes in the population dynamics of Japanese serow and shika deer as a results of competitive interactions in the Ashio Mountains, central Japan. Biosphere Conservation 2(1): 35-44.
- 国土交通省国土政策局国土情報課. 国土数値情報 (<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>).
- 中部地方環境事務所 (2014) 平成 25 年度グリーンワーカー事業 白山国立公園野生鳥獣生息状況等調査・対策業務報告書
- 中部地方環境事務所 (2015) 平成 26 年度白山国立公園ニホンジカ生息状況調査業務報告書
- 中部地方環境事務所. 平成 27 年度白山国立公園ニホンジカ対策検討業務報告書(暫定版)
- 中部森林管理局. 白山山系緑の回廊モニタリング調査報告書 (平成 19~26 年度)
- 東京管区气象台・気象庁地球環境・海洋部・神戸海洋气象台・舞鶴海洋气象台 (2012) 気候変化レポート 2012 -関東甲信・北陸・東海地方-
- Tokida K., and Ikeda H. (1992) Present status of Japanese serow *Capricornis crispus*: distribution and density. p433-436. In “Global Trend in Wildlife Management” (18th IUBG Congress, Transaction Vol. 2). B. Bobek, K. Prezanowski, and W.L. Regelin eds., Swiat Press, Krakow.
- 古池博・白井伸和 (2014) 白山の高山帯・亜高山帯の植生地理とその長期変動 1. 南龍ヶ馬場の雪田群落の最近約半世紀間の減少. 石川県立自然史資料館研究報告 4:17-22.
- 文化庁文化財保護部記念物課 (1994) カモシカ保護管理マニュアル.
- Maruyama N. and Nakama S. (1983) Block count method for estimating serow populations. Jpn. J. Ecol. 33: 243-251.
- 森下正明・村上興正 (1970) ニホンカモシカの生態的研究. 白山の自然, pp276-321, 石川県.
- 山田作太郎・北田修一 (1997) 生物資源統計学. 成山堂書店. 東京.
- 富山県教育委員会・石川県教育委員会・福井県教育委員会・岐阜県教育委員会 (1987) 白山カモシカ保護地域特別調査報告書.
- 富山県教育委員会・石川県教育委員会・福井県教育委員会・岐阜県教育委員会 (1993) 白山カモシカ保護地域特別調査報告書.
- 富山県教育委員会・石川県教育委員会・福井県教育委員会・岐阜県教育委員会 (2000) 白山カモシカ保護地域特別調査報告書.
- 富山県教育委員会・石川県教育委員会・福井県教育委員会・岐阜県教育委員会 (2008) 白山カモシカ保護地域特別調査報告書.

